

【東通村】多目的集会施設「そでやま館」落成式

～東北防衛局～

令和7年11月10日、青森県東通村において整備が進められていた多目的集会施設「そでやま館」（延床面積約656㎡）が完成し、落成式が行われました。本施設は、地域の健全なコミュニティ活動の育成に資することを目的としているほか、防災倉庫やEV車による給電機能を備え、災害時などの避難場所としての機能を併せ持ちます。

東通村は、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第8条に基づく民生安定施設整備事業として、令和6年度～令和7年度に、事業費約3億2千万円のうち、補助金約3千2百万円を活用し、本施設を整備しました。

式典では、畑中稔朗東通村長が、「施設が、様々な地域活動の拠点として、お互いの心と心を繋ぐ交流の場となることを望んでいる。神楽などの伝統芸能の発表の場で、今までの不便さを解消できたと考えている。施設が大いに活用され、地域がますます発展されることを心より祈念している」と挨拶し、施設の名称について「地元では、集落の西側に位置する山を『そでやま』と呼び、愛着を持っている。アンケートを行い、多数の応募の中から『そでやま館』に決定された」ことを紹介しました。

また、式典の初めには、地元の小田野沢神楽会による「屋固め」が行われ、悪魔退散、家内安全、無病息災など、人々に幸いをもたらす勇壮・荘厳な「平獅子」の舞が行われました。

完成した多目的集会施設「そでやま館」の全景



小田野沢神楽会による「屋固め」



挨拶する畑中稔朗村長

